



原水爆禁止世界大会に参加して・・・

～広島から世界へ。平和への歩みを止めない～

今年もおおば薬局・コアラ薬局から、8/4～6にかけて行われた原水爆禁止世界大会へ職員を送り出すことができました。参加した2名の感想を「紹介」します。

【核廃絶への想いは世界共通】

今回初めて原水爆禁止世界大会に参加させていただきましたが、参加している方々の平和を願う強い想いが、述べられる言葉のひとつひとつに込められ、重みとなり、ひしひしと伝わってきました。

5月27日にはオバマ大統領が現職のアメリカ大統領として初めて被爆地・広島を訪問し注目されました。参院選の結果、改憲に向きな勢力の合計議席が、憲法改正発議に必要な3分の2に達し、憲法9条改悪の危機が迫っていることもあり、参加者皆さんの平和への想いの強さを感じました。

日本だけではなく、外国からも多くの方が参加されており、核廃絶や平和を願う気持ちが世界共通であることを改めて実感しました。そのくらい参加者の熱い想いが会場に溢れていました。参加した三日間を通して印象に残っているのは、広島市の被爆者の方々の言葉です。原爆の投下で火の海と化した広島市の街で、死体で埋め尽くされた橋の上を渡り、地獄のような光景をみたこと。その後原爆症に苦しんだこと。学友と家族を失った

悲しみ。語られる当時の悲惨な状況は想像を絶するものでした。原爆記念資料館を見学し、原爆投下後の状況の写真や資料を見て、いたたまれない気持ちになりました。今、被爆者の方の平均年齢が80歳を超え、被爆体験を直接、聞くことのできる機会は減りつつあります。私たちの役割は、そんな被爆者の方々の声に耳を傾け、思いや願いを次世代へ継承していくこと、核兵器廃絶の草の根運動を絶やさないことであると思います。今後も微力ながら平和活動に協力していけたらと思います。

(おおば前橋店 富澤 光洋)



熱気に満ちた原水禁世界大会会場



平和への願いの象徴、原爆ドーム

【被爆71年、被爆地ヒロシマから】

会場についてすぐ、合唱が始まりパワフルな開会総会が幕を開けました。開会宣言の後、広島市長代理の挨拶があり、セルジオ・ドゥアルテ元国連軍縮問題担当上級代表のお話がありました。被爆者の方のお話を中心だと思っていた大会は、言葉のとおり世界大会でありました。各国の代表が世界の核兵器廃絶にむけて地道な活動を行っていること、日本人だけが核兵器廃絶に向けて騒いでいて、孤立しているわけではないことが実感として感じられました。

マーシャル諸島代表の話からはアメリカの水爆実験がいかに現地の人々の生活や安全を無視して行われ続けているか、現在も研究対象として扱われていることに対して人間の欲の深さを感じました。自然からいつか(もうすでに?)しっぺ返しを受ける事になると思

いました。科学者の探究心は大切で必要なものではありませんが、不必要に自然を破壊してまで実験を行い核兵器を保持するのはどうでしょうか。必要のない戦争やテロを生み出しているのは、核兵器がないと安心できない小心者の為政者たちの幻想としか思えません

した。2日目の分科会では伊方原発運転差し止め広島裁判の原告団の話

ラフ地震の震源地にもなりうる中央構造線にあり、必ず起こるといわれている地震がおきて原発事故がおきた場合、西日本は壊滅的な被害を受けるのは間違いないです。また、チェルノブイリの原発事故ではなにも知らされていない700人以上のリトアニア人が原発事故の収束を任せられ、被爆し、後遺症に悩まされているということを知りました。勉強不足であると権力者たちによって、自分の大切な家族やふるさとをなくす事になりかねないことが分かりました。被爆体験を語ってくださる被爆者たちは平均年齢80歳となりました、忘れられない記憶をたどって静かに語る彼らとともに、原発を含め核に頼らない、平和で穏やかな世界が実現するよう、核兵器・原発について勉強し、理論的に反対運動を継続していかなくてはと思います。

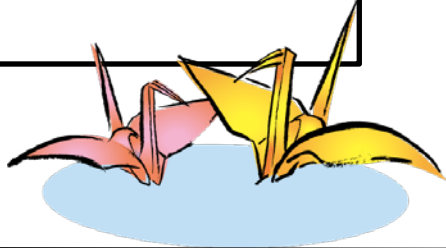
(おおば洪川店 松村 泉)

今回の原水禁世界大会へ

★窓口募金 38,033円

★折り鶴 1万羽

ご協力ありがとうございました



ご利用満足度アンケート結果

ご協力ありがとうございました



「ご利用満足度アンケート調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。合計714名の方から「回答いただきました。今年度より、「電子お薬手帳について」と「残薬について」の項目を新たに新設しました。全店舗の集計した結果をご報告いたします。

★職員への要望

話しかけやすさ」ととてもよい」42.7%（+3.9ポイント前年度比較）職員のあいさつ」ととてもよい」44.8%（+3.0ポイント）身だしなみ」ととてもよい」44.3%（+2.0ポイント）と接遇について評価が上がっています。薬局を利用する理由にも「職員が親切」「相談しやすい」といった評価をいただいています。これからも一層の努力を重ねてまいります。

★お薬手帳について

お薬手帳について、役に立っている70.4%（-2.3ポイント）医師に見せている12.3%（-4.2ポイント）検査値等を記入している4.8%（-1.5ポイント）と手帳の活用といった面では昨年よりポイント減少となりました。ご利用意義やその方法について、もっとお知らせしていきたいと思えます。尚、今年度より全店舗で電子お薬手帳の導入を進め

ています。現時点で1割くらいの人が「興味がある」等とお答えいただいています。更に便利に活用していただけるよう電子お薬手帳の普及にも努めてまいります。

★残薬について

残薬については「ほとんどない」が71.1%、「1〜2週間分」21.3%、「1ヶ月分」2.5%という結果でした。薬が余ってしまった場合は、薬局でも調節ができます。薬剤師にご相談ください。

★待ち時間について

店舗によって評価が改善しているところ、評価を下げているところがありました。今後も安全にお薬を服用して頂くためにお時間を頂く場合もございますが、より早く患者様にお薬をお渡しできるように努力してまいります。

昨年と比べ、総合的評価と位置付けられる「当薬局を知人に紹介したいと思う」が4.5ポイント減の49.7%という結果となりました。この結果を真摯に受け止め、これからも、もっと利用しやすい薬局を社員一同、目指してまいります。これからもどうぞよろしくお願いたします。（町田）

今年も9月5日から11月20日まで11週間にわたり、薬局実務実習が始まります。

平成18年4月から薬剤師の養成に関わる六年制薬学教育がスタートしました。これまで以上に皆様方の医療に貢献する実践力の高い薬剤師をめざして薬学生は在学中に病院や薬局で実務実習を行います。

薬学生は大学における事前学習で一定の知識、技能、態度を習得しております。

実務実習期間中は患者様をはじめ関係者の皆様にご協力をお願いすることがありますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

あおば薬局でも実務実習が開始されてから、毎年薬学生を受け入れていきますので、皆様がいらした時に、実際に指導のご協力などお願いたしたこともあったかもしれません。

今年はおおば薬局四店舗で各一名、合計四名の受け入れとなります。（あおば高崎店が初めての受け入れです）

大学で得た知識と現場の実務をどのように結び付けるかを、初めて直接学べる場です。実際の患者様と向き合うことは非常に大切な経験となり、今後

薬剤師の卵を育てる

「実務実習」が始まります

の大きな成長となります。

私たち、指導薬剤師としても大学では学ぶことのできない経験をどのようににさせて、患者様を通して何が見えるのか？学べるのか？を一緒に考えています。

昨年あおば薬局前橋店と太田店で実務実習を行った薬学生二名が就職予定となつていきます。地域の皆様と共に育てた薬学生が薬剤師となり、戻って来てくれることに喜びを感じています。

患者様へのお願い

薬剤師の指導、監督のもと、薬学生が業務の一部を行います。

こちらから、実習の協力をお願いするかと思えますので、是非ご協力お願いいたします。

また、ご意見等ございましたら遠慮なくお申し出ください。（田辺）



編集後記

例年実施しているご利用満足度アンケートにご協力頂き、有難うございました。私が勤務しているコアラ薬局桐生店でも57名の患者様にご協力頂きました。

アンケートのお願いをしている中で、ある患者様からこんな質問がありました。

「私90代なんですけど・・・」

アンケートの年齢に関する項目には、80代までしかなかったため、お詫びをするとともに、質問された患者様がとてもしつかりされていて、失礼ですがとても90代には見えず、自分は将来どうなっているのだろうかと考えてしまいました。

スポーツの秋。自分の健康維持のために、さぼっていたウォーキングを再開しなくてはと思っている今日この頃です。

（吉田）

